



20年以上も第一線で活躍する

ボートレーサー

野辺香織さん(佐間・41歳)

水上を舞台にしたスピード感あふれる競技が展開され、レーサー同士が熱い火花を散らすボートレース。そんな世界で20年以上も第一線で活躍し続けているボートレーサーの野辺香織さんを紹介いたします。

高校卒業後にボートレーサーへの門を叩いた野辺さんは、1年2カ月の学校での訓練と試験を経てデビュー。しかし、プロの世界は想像以上に厳しく、最初はなかなか結果が出せずに「自分はレーサーに向いていないのではないかとこのまま続けられるのか」と悩み、自信が持てませんでした。それでも、日々努力を重ねていく中で「ボートレースは頑張ったことが結果につながる」と前向きに考えられるようになったそうです。



それから順調にキャリアを重ねてきました。それが、平成26年6月、レース中の事故で手を骨折

折し、レースから遠ざかること。「握力が戻らなくて、競技に復帰できるか不安なときに家族や選手仲間、そしてファンの方から激励してもらいました。まだまだやりたいという気持ちが強くなり、レースが大好きなことを改めて実感しました」と振り返る野辺さんは、11カ月間の懸命のリハビリの末、見事レースに復帰しました。

レース期間中は乗艇する船のプロペラをはじめとする整備を自ら行います。プロペラの角度の違いによる動きの変化などがレースの結果を左右するため、わずかな差異に気を配り徹底的に調整をするそうです。勝利のため、細部まで手を抜かないプロとしての信念を見せる一方で「レースの時は1週間自宅を空け、家族と一切連絡が取れないので、子どもには寂しい思いをさせてしまっているかもしれない」と、母としての一面も。小学1年生のお子さんは最近、野辺さんの仕事を理解し始めている様子とのこと。「頑張って1着を取ってね」と笑顔で送り出してくれる姿を見ると、大変だと思っ以上に充実感があります」と話す野辺さんの口元には自然と笑みがこぼれます。

「プロスポーツ選手を目指している子供たちに夢を、働くお母さんたちに元気を与えたい。そのために、少しでも長く現役を続けたいですね」と目標を語る野辺さんの瞳には、次のレース向け、闘志がみなぎっています。

はじめまして



平成27年9月生まれのお子さんを募集します

○7月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、8月3日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成27年7月生まれのおともだち ★★★



安藤 岳ちゃん(押上町)
平成27年7月4日生まれ
父・博之さん 母・真由美さん
「ガッツで山を乗り越えろ!!」



安住 咲絆ちゃん(門井町)
平成27年7月13日生まれ
父・洋之さん 母・香織さん
「可愛い笑顔が大好きだよ!」



根岸 色七ちゃん(南河原)
平成27年7月11日生まれ
父・哲也さん 母・由香さん
「末っ子パワーでたくましく育ってね☆」



伊藤 詩乃ちゃん(長野)
平成27年7月25日生まれ
父・康伸さん 母・裕美さん
「いつも元気な笑顔をありがとう!」



児玉 碧唯ちゃん(佐間)
平成27年7月24日生まれ
父・峰之さん 母・由樹さん
「強く優しく育ってね♡」



福島 輝ちゃん(堤根)
平成27年7月31日生まれ
父・直人さん 母・詩乃さん
「輝く笑顔、いつまでも!!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

三和アーバンクリエイト株式会社

環境に優しい舗装材で快適な空間づくり



見沼公園(行田市)



あけぼの子ども森公園(飯能市)

会社プロフィール

代表取締役社長 小野寺 淳

【事業内容】 土木資材販売業
【住所】 門井町1-17-1

三和アーバンクリエイト株式会社は、関連会社である三和グランド株式会社が開発した舗装材の販売や路面クリーニング事業を通じて都市空間づくりを追求している会社です。

「私たちの扱う『カラーサンド』は、製鉄時に排出される副産物『高炉水砕スラグ』を素材に使用することで、これまでの舗装材に欠けていた高い透水性・保水性を備えています。また、経年劣化にも強いのが特徴です」と三和アーバンクリエイト株式会社代表取締役社長の小野寺淳さんは話してくれました。カラーサンドで覆った路面は、水を素早く吸収するため雨が降っても水たまりが出来る、滑りにくい状態を保ちます。また、水を内部に貯えるため、地表の温度を下げる「打ち水」効果を長時間持続させることができるのです。これらの性質は、近年問題になっているゲリラ豪雨による都市型洪水やヒートアイランド現象にも対処することが出来ます。さらに、色のバリエーションが豊かで周囲の景観に合わ

せやすいことから公園や遊歩道に採用されることが多く、市内では水城公園や古代蓮の里、見沼公園で使われているそうです。

他にも、ごみ焼却場から排出される溶融スラグを加えた「エコ・クールサンド」や自然土に近い風合いの「エターナルサンド」など環境に優しい機能的な舗装材を数多く展開。施工現場は県内を中心に、全国各地で年間100件にも上るそうです。また、製品が効果を発揮できるよう技術者が直接現場に出向き、施工の助言や指導も行っています。

小野寺さんは「これからは舗装材とともに、環境に配慮した製品を幅広く提案していきたいと思っています。最近では『ネオトルネーダー』という水質浄化装置を取り扱い始めました」と新たな事業展開への意欲をのぞかせます。快適で環境に優しい都市空間の創造を目指し、同社はさらなる進化を続けていくことでしょう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

俳句

- | | |
|------------------|----------------|
| 矢場 高田みつ子 | 荒木 藤田 明枝 |
| 野仏の鼻孔くすぐる夏の蝶 | 傘の花咲かせ城下は梅雨に入る |
| 門井町 宮田 淑尚 | 門井町 嶋田 茂 |
| 見はるかす棚田千疊風薫る | スケッチの線の強さや梅雨晴間 |
| 門井町 茂田 鳥山 | さなぶりや水口光る利根の邑 |
| 梅雨晴やのんびり亀の甲羅干し | 下中条 梶原 銃司 |
| 忍 飯島 素子 | 行く春や飛行機雲を消しながら |
| 思い出を辿りて亡夫と新茶汲む | 山門の風に生まるる新樹の香 |
| 南河原 今村 文女 | 豆飯は塩の加減や祖母の味 |
| たんぽぽのわたの旅立ち風任せ | 夏草の足にまつわる田舎道 |
| 佐間 須永 節子 | 名刹の朱の反り橋や夏木立 |
| 恙なく生きて心の更衣 | 五月晴れ妻と梅の実落しけり |
| 荒木 藤田 栄之 | 短夜や夢に入りくる鶏の声 |
| 五月晴術後の右手あげてみる | 城南 橋本千枝子 |
| 落陽に部活帰りの汗光る | (三沢 一水 監修) |
| 富士見町 鈴木スイ子 | |
| 額の花家負ふことの重きかな | |
| 持田 伊藤 洋子 | |
| ポピー畑鳥やドローンも飛び交いぬ | |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。